

韓国からまちづくり視察団

館山文化遺産生かす活動見学

韓国・水原（スウォン）市のまちづくり視察団が28日から2日間、館山市内を訪れ、地域の文化遺産を活用したまちづくりの取り組みを視察した。視察団は、同市のまちづくりに取り組み団体と官民共同の支援組織「ルネサンスセンター」の12人。

一行は、愛沢代表らの案内で、韓国ともつながりのあるハングル文字が刻まれた大巖院の四面石塔「海の幸」を描いた青木繁が滞在し保存活動が進む布良の小さな谷家、布良崎神社

赤山地下壕などを視察。地域で保存、活用に取り組み人の話にも耳を傾け、同フォーラムを中心とした館山のまちづくりの事例を学んだ。

ルネサンスセンター事務局長のパク・サンチョルさんは「館山の活動はうらやましい限り。専門的に活動する人がいて、市民一人一人と一緒にやってまちづくりに取り組んでいける。布良崎神社を思う地域の人の熱意には感激した。韓国に戻って館山の手法を伝えたい」。

韓国でまちづくり活動をするキム・ジョンジンさんは「韓国で同じような活動をする都市と館山でネットワークをつくり、交流して互いのまちづくりにつなげることができればと語っていた。



愛沢代表の案内で地下壕を見学する韓国視察団＝館山市の赤山地下壕で

崎神社

新新聞 2015.8.31

房日新聞2014.8.31